

佐貫小学校保護者の方への説明会について

期日：令和6年4月27日（土）

出席者

市教育委員会：岡根教育長・中山教育部長・細谷学校教育課長・大畑主幹

保護者：21名

富津市教育委員会岡根教育長からの挨拶

本日は、本校の学校再配置について、ご説明させていただきます。教育委員会では、本校と大貫小との再配置につきまして、本校の保護者の皆様との説明会をのべ6回ほど行ってまいりました。夜間ということもあり、ご都合でご出席できなかった皆様もありましたが、皆様からご意見を頂き、その都度回答をさせていただきながら、ご理解を頂きたく努めて参りました。2月29日の保護者説明会の折に、おおむね、保護者の皆様のご理解を得たと判断し、今後は大貫小の保護者や地域の住民の方に対し、説明会を開く旨をお話ししたところ、本日の保護者会には、多くの皆さんが見えるので、再度説明をしてほしいとの要望があり、参りました。

担当の説明

教育委員会では、学校の再配置に向けて、児童生徒の教育環境を整えるため、児童生徒数が極めて少数になっている学校に対して、保護者の理解を得ながら取り組んできました。

令和2年度には、天羽中、大佐和中、天羽小の再配置を進めてきました。本校については、コロナ禍ということもあってなかなか保護者説明会も対面で進めることができませんでした。数回にわたり説明会を開催し、ご意見を頂き、回答や会議録を公開してきました。3月の教育委員会会議において、経過を説明し、今後の対応について教育委員の皆さんの同意を得ましたことから、本日保護者の皆様へ今後の取り組みに対しご説明をさせていただき、ご理解を得るために参りました。どうかよろしくお願い申し上げます。

今後の取り組みの大まかなスケジュールについて申し上げます。今後、大貫小の保護者、佐貫地区の住民、大佐和地区の住民の皆さんに説明をし、意見交換をし、ご理解を得ていきたいと思います。また、同時に両校の保護者会や職員間の情報共有及び、校名や校章、校歌などについて協議し、おおむね2年間の期間を費やし、早ければ、令和8年4月、もしくは、令和9年4月に再配置していきたいと考えています。

意見・質問等

Q1：佐貫小学校と大貫小学校の交流会を参観する機会を作ってもらいたいです。

A1：保護者が参観できる交流の実施について、依頼していきたいと思っています。

Q2：どうしても学校再配置を行わなければならないか疑問です。今の少人数でもよいと思います。再配置を行うことでどのように子どもたちのためになるのか聞きたいです。

A2：第一として極めて少ない人数を改善したいと考えています。ある程度の人数の中で自分の立場を明らかにして意見交換ができる人数としたいと考えています。

Q3：設備がよくなるようなことはあるのでしょうか。

A3：予算措置については不都合がないようにしていきたいと思います。

Q4：教育環境を子どもたちのためによくしたいというのは大人の都合であると思います。少ない児童数で佐貫小の子どもたちの教育レベルは高いと思います。少ない児童数での魅力を残し、日本全国に発信してもらいたいと思います。将来子どもたちがどのように成長していくのかを考えて、学校再配置を進めているのでしょうか。児童数が少ないからかわいそうだというので学校再配置を進めていくことに危機感を感じます。少子化の中で少ない児童数でどのように教育を行っていくかについて考えたいです。

A4：佐貫小学校の先生方は懸命に、立派な指導をしていると思います。その中でも、子どもたちの教育環境をさらによくしていきたいと考えます。いろいろな子どもたちがいる中で、意見交換をして賛成や反対の意見を聞く中で学ぶことは、非常に子どもたちの成長にとって大きいと思います。

例えば、跳び箱の練習で考えたときに少人数の場合、練習する回数は増えますが、できる子ができない子にアドバイスをしたり、できない子ができる子の演技を参考にすることを知らずに成長することを避けたいと思います。あまりに人数が少なくなっている環境は是正していくべきだと思います。

Q5：大貫小学校ではどのような質問や意見があったのでしょうか。

A5：主なものとしまして、「学校再配置を行うとして、開始の時期はいつですか。」「学校名や校歌など変わるのであれば、意見を聞いてほしいです。」「なぜ、大貫小学校と佐貫小学校の学校再配置なのですか。」です。

佐貫小学校の保護者のご理解は得たので、大貫小学校の保護者説明会を行っているという説明をしたわけではありません。大貫小学校も多くの人数が集まるPTA総会において、学校再配置についての経緯等を説明させていただきました。

Q6：もしも、学校再配置を行わない場合の第二の考えをもってほしい。

A6：富津市議会で、学校再配置に対して反対となったり、大災害が起きたりした場合は、学校再配置を行わないこともあります。現状の中で反対が多ければ、現状のまま、佐貫小学校を続けていきたいと思います。

Q7：スクールバスに乗り遅れたらどうするのでしょうか。

A7：登校時に乗り遅れてしまったら、ご家庭の方のご対応をお願いしたいと思います。下校時については乗り遅れることがないように確認したいと思います。

Q8：下の子が佐貫小学校の運動会を見て「佐貫小学校に通いたい。」と言っています。

大人数のメリットもあればデメリットもあると思います。できれば佐貫小学校を残してほしいと思います。

A8：佐貫小学校がよい学校なので、学校を残してほしいというご意見はこれまでもいただいています。しかしながら、極めて少ない人数を解消して、教育環境を整えたいと考えています。

Q9：今、行っている説明会をもって、学校再配置について判断するのでしょうか。それとも、今後の交流会の様子を踏まえて学校再配置について判断していくのでしょうか。

A9：富津市教育委員会としては、学校配置について進めていきたいと思います。交流会の様子から保護者の皆様のご意見を伺うことは考えておりません。ただし、皆さんがどうしても学校再配置に反対です、という声が強くなれば、再度、説明会を行っていかなければならないと考えます。

学校再配置について行ったアンケートでは6割の方が賛成かどちらかといえば賛成で、4割の方が反対かどちらかといえば反対でした。その理由としての記述を見ると、平行線となるものもありますが、多くのものは条件整備の問題について書かれているものであり、それらを解決することで学校再配置を進めていきたいと思います。今後、PTAでの話し合いなどから、再配置について待ってくださいますとすれば、学校再配置の取組について中断することもあるでしょうが、これまで説明会を行いご意見を伺ってきましたので、大貫小学校での保護者説明会や地域の方への説明会を行っていきたくと思っています。今回の説明会をスタート地点として次の段階に入っていきたいと思っています。

Q10：学校再配置の開始についてはいつ分かりますか。

A10：決定次第、お伝えします。

Q11：来年度以降の児童数の見込みを教えてください。

A11：令和6年4月1日現在で、6歳児（年長）から0歳児までで、9名、6名、8名、5名、4名、6名となります。多少の変動はあると思いますが、現時点のものです。

Q12：学校再配置についての情報が出されていたのでしょうか。

A12：学校再配置計画は平成30年3月に出されていきました。佐貫小学校は、そのときはまだ複式学級ではありませんでした。早くにお伝えすべきだったとも思いますが、コロナ禍があり、お伝えする時期が遅れたことはあります。

例えば、住宅開発があり、児童数が増えることがあるかもしれませんので、極めて少ない児童数となった中でお話をさせていただいております。

Q13：住宅ができて人口が増えるというのは、他の力をあてにしているように思います。

A13：今の状況で6歳未満の児童が増えるかどうかは分かりません。現実的に学校の児童数が少なくなった状況の中で、お話をさせていただいています。

Q14：来年度の9人の入学予定は多く感じます。しかしながら、1学年9人では、学校再配置を進めなければいけない人数であると理解してよろしいでしょうか。

A14：複式学級は16名以下で、1・2年生は8名以下で複式学級となり、佐貫小学校の複数の複式学級は続いていく見通しとなります。9名の学年は人数としてよいかもかもしれませんが、他学年は極めて少ない人数となり、複式学級は解消したいと思います。

Q15：学校再配置を進める、進めないについて、この場での判断はないのでしょうか。

A15：今までの経緯と、教育委員会の決議も得ていますので、富津市教育委員会として、学校再配置を進めていきたいと思っています。

Q16：前回の保護者説明会の人数が少なかったのであれば、この場で決を採ってはどうか。

A16：決を採っても構わないと思います。ただ、保護者アンケートは行っております。

Q17：学校再配置は進んでいくのでしょうか。

A17：富津市教育委員会としては、次の段階へすすめていきたいと思っています。この場で再度確認をとということであれば、皆さんのお考えを伺いたいと思います。

Q18：話の順番が違ふと思います。「こういう方向にしたいのですが、いかがでしょうか。」ではなく「こういう方向にしますから、協力をお願いします。」となっていると思います。我々の意見にかかわらず、進んでいくように感じている人がいることを理解してほしいと思います。

A18：市教育委員会としては、一定の考えをお話ししながら、学校再配置ありきではなく、現状を伝えながら、保護者説明会やアンケートを通して、丁寧に説明してきたという思いはあります。しかしながら、十分に伝わっていないことに対して、反省しなければいけないと思います。「賛成と反対が51対49なら学校再配置を行う。」という考えはありません。しかしながら賛成が100%でなければ、学校再配置を行わないという考えもありません。ですから、説明会に来られなかった方の意見や質問を集約したり、アンケートを行ったりして、回答させていただく中で、皆さんの概ね賛成を得られてとして学校再配置を進めていきたいと思っています。

アンケートの中で反対だが、条件がクリアできれば賛成となるという方もいれば、賛成だが取り組んでもらいたい要望があり、動揺している方もおられます。お話をしていく中で、富津市教育委員会が判断して、学校再配置についてすすめていきたいと思えます。今後、「今の状況では納得いかない。」となれば、PTAで話し合っただき、ご意見を出していただければ、その中で検討していかねばならないと思えます。今この段階で決を採ることはよいかもかもしれませんが、多くの方々の意見を伺ってまいりましたので、学校再配置についてのご理解を得られればと思えます。

Q19：入学前の子どもの保護者への説明はどのように行うのでしょうか。

A19：地域への説明会へ是非、参加していただければと思えます。保育所や幼稚園へも周知させていたきたいと思えます。

今後は、皆様のご意見やご質問をいかしながら、学校再配置についてすすめていきたいと思えます。今後もご意見やご質問がありましたら、お寄せください。ご理解ご協力、よろしくお願ひいたします。